

吉ヶ平自然体感の郷について

問 利用者減の要因と対策は。
答 効果的な情報発信が不足。指定管理者や関係団体と創意工夫する。

問 アクセス道路の安全対策は。
答 県と道路の管理を含め協議する。



吉ヶ平自然体感の郷へのアクセス道路

市職員の時間外勤務について

問 今年度の実績と時間数は。
答 目標30%に対し12%の削減。月100時間以上は7人、最高は137時間。

問 出退勤時間と時間外勤務の差は。
答 大きな差はなく適切に管理している。

米山県政に対する政治姿勢について

問 10月の県知事選挙で、市長が推した森前長岡市長は敗れ、県政初の野党系知事が誕生した。米山知事に対する国定市長のスタンスは。
答 県民の選んだ知事だ。県のリーダーとして手腕を発揮してもらいたい。本年中に各首長との意見交換が予定されている。必要に応じ支援してもらえれば歓迎する。

ものづくり大学について

問 第1回検討委員会の市長あいさつで、設置は市で、場所は看護系高等教育機関と同じ須頃郷、開学は平成32年度と重要なことを述べている。どこで議論がされたのか。節目で議会に対し報告するべきではないか。
答 基本的考えを申し上げたもの。節目で報告、表明もしたい。

下田地域の新たな温泉宿泊施設について

問 誘致予定の株式会社自遊人は、今後10年で10地域に進出する目標を掲げ、発表している。下田

地域はの中で位置付けられているのか。温泉掘削まで市が支援する必要があるのか。
答 10力所のうち1力所は県内につくりたいと伺った。こうした企業に対する支援が公平を欠くとは思わない。

清掃センターの焼却炉について

問 フィルターを取り換えは、いつしたのか。
答 耐用年数は8年。平成28年10月に全休炉点検し、1号炉の一部を交換。

旧焼却炉の跡地環境対策は万全か。

問 旧焼却炉の跡地環境対策は万全か。
答 ヒ素および鉛については平成24年に基準を上回ると周知。現在は、鉛を掘削工事と処理。ヒ素は近隣の自治会に流れないよう地下水等のモニタリング調査。その数値が変わらないというこ

最終処分場について

問 下田の処分場の使用開始はいつごろか。
答 平成32年使用開始を予定。

問 道心坂処分場の現状と今後は。
答 道心坂処分場は、新処分場開始に合わせ平成31年度末をもって埋め立て完了。

市有地売却の成果は

問 どこに売却したのか。
答 公共施設の跡地6件を一般競争入札による公告売却したが、応募者がおらず売却してない。旧勤労福祉会館については、基礎ぐいを地表から1.5メートルのところまで切断し存置してある。

スポーツ・文化・交流複合施設建設について

問 総合体育館、体育文化センターの解体工事費5億2500万円、実施設計に2億6000万円、新施設の建設費は約45億円以内とし、財源は国の交付金8億4500万円、起債が32億1000万円、一般財源が約4億4300万円との説明が7月になされたが、その後この財源構成に変わりはないのか。
答 その後の変更は、現段階ではない。今後のスケジュールはどうか。
問 建設工事については、平成29年度中に契約を行い、平成31年上

東三条駅周辺の交通対策について

期にスポーツ機能部分を、平成32年上期に全館供用開始を目指している。

問 平成29年度事業として、旧長崎屋跡地で駐車場の整備に取り組みということだが、全て駐車場と駐輪場という構想なのか。
答 駅利用者の送迎用および駐車スペースはもとより、地域のにぎわいや地域コミュニティを創出する場としての活用も視野に入れていく。今後は、地元商店街や自治会の皆さまと話し合いを重ね、運営体制等の構築に向けた調整を進めていきたい。

公職選挙法違反を問われている市長への告発状の提出および受理について

問 「公選法」をどのように考えているか。
答 法治国家である限り守るべきことと心掛けていく。

問 「書いたときから違法性を認識していない」とのことだが、今も変わらないのか。
答 全く変わっていない。警察から何がしかの問い合わせ

三条市における子育て支援（幼児教育）の充実について

問 三条市としても発達参観の実施など幼児教育に力を入れているが、支援を必要とする児童を預かる保育園等の施設に対する補助制度の拡充も、幼児教育の充実を図るために必要ではないかと考えるが市の見解はどうか。
答 「人の道」に反することはやっていない。

まちなか交流広場「ステージえんがわ」について

問 「ステージえんがわ」を中心としたイベント等を多く行っている中で、利用しづらい、入りづらいといった市民の声も耳にする。高齢者や近隣の方のニーズを把握するためにアンケート等を実施し、意見を頂きながら運営を進めていくべきではないか。
答 今後アンケートの実施についても検討していく。

問 観光・交流人口の拡大について
答 ワイ・ファイの整備促進は、観光および地域活性化等、新たな社会基盤として必要と考えるがどうか。
答 外国人の利用も視野に入れ、新たな施設へのワイ・ファイ導入を検討していく。

問 市民が安心、安全に暮らせるまちづくりについて
答 今後豪雨による土砂災害が懸念される。市の対応を伺いたい。



第1回懇談会（下田地区中浦集落）

三条市バイオマス発電について

問 南蒲原森林組合は、2市1町で構成されている組合である。他市町との話し合いの場を設けているのか。